

高等部 3年生 美術 年間計画

【美術】 通常の学級

【2段階】

指導内容	単元名 (仮)
<p>A 表現 教科別の指導 作業学習 生活単元学習 ア 感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に、描いたり、つくったりする活動 (ア)対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 (イ)材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すこと。</p>	<p>描く活動 ①「版画で表現しよう(一版多色刷り版画)」 ②「感じたことを表現しよう(モダンテクニック)」 ①～②を合わせて材料や用具を工夫して、実際に見たものや想像したことを描く活動に取り組むことも可 例:絵画(人物、動植物、静物や風景の観察や描写、印象画、想像画、漫画、イラストレーション、図等) 版画(紙版、木版、ゴム版、スチレンボード版等) デザイン(ポスター、案内表示、表紙装丁デザイン等)</p>
<p>B 鑑賞 教科別の指導 作業学習 ア 美術作品や生活の中の美術の働き、美術文化などの鑑賞の活動 (ア)美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めること。 (イ)生活や社会の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。</p>	<p>つくる活動(造形品や造形的な工作物) ①「光を感じて(共同制作)」 ②「固まった形から表現しよう(粘土を使って)」 ③「伝統工芸品を作ろう(蒔絵)」 例:立体物(人物、動植物、乗り物、建築物) 工芸品(織物、紙工、草工、木工、金工、七宝焼きや焼き物の器物、装飾品) ※地域の伝統的な工芸、民芸などの制作を通して地域の材料を生かし、その表現方法を学べるように工夫する。 ※主な材料や用具 描画:水彩絵の具、ポスターカラー絵の具、墨、色鉛筆、ペン、パステル、色紙 立体:粘土、木、石、紙、布、金属、プラスチック、スチレンボード、ニス、水性・油性塗料、 ※各地域にある、粘土、砂、石、和紙、木、竹などの独特の材料の活用を検討する。 用具:塗装用具、接着剤、</p>
<p>【共通事項】 ア 「A表現」及び「B鑑賞」 (ア)形や色彩、材料や光などの働きを理解すること。 (イ)造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることを理解すること。</p>	<p>鑑賞の活動 「私の感じる和(日本の伝統工芸品や美術作品の鑑賞)」 (生活に身近な生活用品になっている伝統工芸品などを鑑賞する。パソコンやテレビ、プロジェクターなどのICT機器を活用しながら、作品を十分に鑑賞できるように工夫する。) ※鑑賞する際には、作品を見る視点についても取り上げ、横からみたり、上から見たりして作品を味わい、十分に作品のよさを感じることができるようになる。</p> <p>共通事項については、「A表現」及び「B鑑賞」となっていることから、次のような活動も参考にしていくようにする。 ○鑑賞する機会を設ける活動 (文化遺産などの鑑賞を通して、その特性やよさに気づき、美術文化と伝統を実感的に捉えるようにする。) (ミニギャラリーの設置など、生徒の作品や鑑賞作品の展示を工夫し、作品に親しむことができる環境づくりを行う。) (身近な地域、日本、諸外国など鑑賞する作品の幅を広げる。) ○形や色彩、材料や光などの働きについて理解する活動。 ○造形的な特徴などから全体のイメージで捉える活動 (鑑賞物をバラバラにしてみたり、切り取ったりして見る視点に変化をもつ。)</p>